

会報

社会参加で生きがいづくり

さいたまシルバー



「岩槻文化公園」

目次

- 定時総会ご挨拶.....2~3
- 平成 29 年度 定時総会・アトラクション.....4~7
- 各種講習・研修会.....8~9
- 就業会員の声.....10~11
- 発注者の声.....11~12
- 地域班活動・親睦互助会.....13~15
- 事務局より・編集後記.....16

第32号

2017.8.1



公益社団法人 さいたま市シルバー人材センター

〒330-0801 埼玉県さいたま市大宮区土手町1丁目213番地1

さいたま市大宮ふれあい福祉センター 内

Tel:048-669-0303 Fax:048-669-0305

ホームページ:<http://saitama-sjc.or.jp/>



定時総会ご挨拶

公益社団法人 さいたま市シルバー人材センター

理事長 佐伯 鋼兵

本日、ここに平成29年度定時総会を開催いたしましたところ、このように多数の会員の皆様にご出席をいただき、誠にありがとうございます。

また、公務ご多忙にもかかわらず、さいたま市長清水勇人様、市議会議長桶本大輔様、公益財団法人いきいき埼玉理事長岡崎守様、さいたま市保健福祉局長志村忠信様にはご臨席を賜り、ここに、本総会が挙行できますことは誠に喜ばしく、心から感謝申し上げます。

さて、国内の景気動向を見ますと、明るい兆しが見える

一方で、まだまだ持続的な成長に結びついておりません。

昨年の当センターにおきましては、平成23年度以降、長引く経済不況や適正な就業形態の見直し、補助金の削減等の影響を受け、赤字決算が続いておりましたが、本年ようやく黒字決算を迎えることができました。特に、労働者派遣事業への就労には、積極的な推進を図り、契約件数・契約金額・就業延人員とも昨年の4倍以上となっております。今後も【請負・委任】・【派遣】の各領域において、より一層の充実を図るべく、会員皆様

の個々の知識・経験・希望を汲みあげて、力量・技量を遺憾なく発揮していただけるよう積極的に取り組んでまいります。

これからも、さいたま市との連携を密にしながら、指定管理者制度への参入も視野に入れた開拓活動をはじめ、様々な地域ニーズにこたえてまいります。そのため、さいたま市をはじめ、関係諸団体の皆様方におかれましては、シルバー人材センターが、国や自治体が果たすべき役割の一翼を担っておりますことを十分にご理解

いただき、引き続き仕事の発注等におきましても絶大なるご支援とご協力をお願い申し上げます。

センターを取り巻く環境は、今後ますます変化し、時代に対応した取り組みが求められる中、社会環境の変化に即した事業展開を進めてまいりますので、会員の皆様におかれましても、引き続きご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに、ご多用の中、ご臨席を賜りましたご来賓をはじめ、会員皆様方のご健勝とますますのご活躍をご祈念申し上げます。挨拶とさせていただきます。





定時総会ご挨拶

さいたま市長 清水 勇人

ただ今、ご紹介をいただきました。さいたま市長の清水勇人です。

本日は、公益社団法人さいたま市シルバー人材センターの平成29年度定時総会が盛大に開催されますことを、心よりお慶び申し上げます。

日頃より、佐伯理事長をはじめ、会員の皆様方には、本市の市政運営に格別のご理解ご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。

会員の皆様方におかれましては、シルバー人材センターへの参加を通じて、さいたま市のまちづくりにご貢献をいただいておりますことに、深

く感謝をいたしますとともに、敬意を表する次第であります。

さて、少子高齢化や人口減少社会の到来が言われて久しくなりましたが、本市では、人口増加基調が続くとともに、企業本社についても転入超過が続くなど、成長力の高い都市となつてまいりました。また、一方で、昨年度の市民意識調査では、「住みやすい」、「これからも住み続けたい」との回答が過去最高を記録し、この10年間上昇基調が続いております。

そこで、私は、さいたま市の持続的な発展と、市民満足度の更なる向上を目指し、「東

日本の中枢都市」の形成のため、都市機能の充実やインフラ整備、防災対策の強化等、未来に向けた積極的な投資を行うとともに、「上質な生活都市」づくりのため、教育・子育て支援の充実、「健康（けんこう）長寿社会」に向けた対策強化等に取り組んでまいります。

その中でも、高齢の皆様が健康で、生き生きと輝く、安心できる健康長寿のまちを実現するため、高齢者の健康づくりや、社会参加の機会を増やす取組の強化、認知症サポートターの拡充等の認知症高齢者総合支援事業を推進してま

いります。

これからの地域社会の活性化には、シルバー人材センターの皆様にご活躍をいただくことが、ますます重要になってまいります。会員の皆様の豊かな知識や経験、能力をお借りしながら、まちづくりをさらに前へ進めてまいりたいと考えています。

最後になりましたが、さいたま市シルバー人材センターの更なる発展を祈念いたしますとともに、会員の皆様のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



平成29年度 定時総会が開催されました

6月23日、さいたま市民会館おみや大ホールで平成29年度定時総会が開催されました。

当日は670名の来場があり、委任状と合わせると3500名を超える出席数となりました。

司会を岩野勝治郎会員が務め、佐伯理事長による挨拶、来賓の方々によるご祝辞をいただきました。

その後、佐伯理事長より会員、団体の表彰があり、表彰状が授与されました。引き続き総会に入り、議長には片桐健司副理事長が選出されました。

報告事項として、平成28年度の決算書類の監査報告と平成28年度事業報告を行いました。

また決議事項として、平成28年度収支決算報告の承認および役員を選任について審議され承認されました。



議長を務める片桐健司副理事長



挨拶をする佐伯鋼兵理事長

平成29年度 事業計画

「会員の増強」「就業の場の確保」「安全・適正就業対策の推進」を計画の重点項目として、次の事業に取り組んでまいります。

- 1 会員増強
- 2 就業機会の拡大
- 3 安全・適正就業の推進
- 4 運営体制の強化・充実
- 5 普及啓発の推進
- 6 社会奉仕活動の充実



決議事項に続き、その他の報告事項として、3月の理事会で承認された平成29年度事業計画及び平成29年度収支予算について報告を行いました。

定時総会終了後は、会員によるアトラクションと、アンサンブルトーンによるクラシック演奏で盛り上がりました。

アトラクション終了後、お楽しみ抽選会が行われ、6名の方に豪華景品が贈られ、その他出席された会員の約半数の方にお米が贈られました。

来賓の皆様



桶本大輔さいたま市議会議長



清水勇人さいたま市長



さいたま市保健福祉局
志村忠信局長



いきいき埼玉
岡崎守理事長

表彰者の皆様

会員表彰



左から

横川昇会員（大宮）日野松雄会員（浦和）阿部勝会員（与野）
飯野功会員（岩槻）堀内七夫会員・フサ子会員夫妻（大宮）



一般表彰

左から

株式会社イトーヨーカ堂大宮店 黒澤友美様
うらわ賛友会 宮崎康様

総会終了後のアトラクション



歌 伊藤嘉彦会員（大宮）



アコーディオン 相本博会員（与野）



フォークダンス 三品信子会員（岩槻）他 11 名



指笛 牛山宏隆会員（大宮）

Ensemble Tone



鈴木菜穂子様（ソプラノ）
長谷川千晶様（フルート）
稲見はるか様（ピアノ）



踊り 伊藤一夫会員（浦和）他 20 名

各種講習・研修会

次のような講習や研修が、昨年度下半期に実施されました。

市民向け講習

① 書道講習会

12月16日～22日 25人参加
会場・浦和ふれあい館

② 料理講習会

3月16日 13人参加
会場・浦和ふれあい館

会員研修・講習

シルバー人材センター主催の会員を対象とした技能及び資質向上を図る講習ならびに研修です。

① パソコン研修

第4回 エクセル入門
10月19日～21日 16人参加
会場・与野事務所

第5回 ワード入門

11月28日～30日 19人参加
会場・大宮事務所

第6回 初めてのパソコン

1月16日～18日 15人参加
会場・大宮事務所



② 認知症サポーター養成講座

11月24日 25人参加
会場・コミュニティセンターいわつき

③ コンプライアンス研修

11月26日 41人参加
会場・ふれあい福祉センター

④ 料理講習会

12月8日 23人参加
会場・与野本町コミュニティセンター



⑤ ハウスクリーニング研修

2月7日 29人参加
会場・岩槻本町公民館
2月10日 49人参加
会場・大宮事務所
2月17日 53人参加
会場・浦和事務所
2月23日 27人参加
会場・下落合公民館



⑥ 植木(松)剪定研修

3月8日 36人参加
会場・与野南小学校



⑦ 植木安全就業研修

3月9日 78人参加
会場・ふれあい福祉センター



高齢者生きがい

活動センター事業

さいたま市内の高齢者に対し、各種研修及び技術指導を行うことにより就労を支援します。高齢者の豊かな経験、知識及び技能を活用した地域活動を支援し、生きがい活動の場を提供することにより、高齢者の生きがいづくり及び健康づくりを促進するための事業です。

① パソコン講座

第4回 ワード入門

11月17日～22日 4人参加



第5回 ワード入門

1月23日～26日 20人参加

第6回 エクセル入門

2月2日～7日 18人参加

② 傾聴ボランティア養成講座

9月12日～10月7日

29人参加



③ 傾聴ボランティア

スキルアップ講座

10月20日～31日 45人参加



④ 筆耕(写経)研修

3月6日～17日 29人参加



講習会・研修会のお申込みについて

各種講習会、研修会についてのご案内は、毎月発行している「会員ニュース」や「市報さいたま」に掲載されます。

お申込みについては講習会や研修会ごとに内容や会場が異なりますので、それぞれご確認のうえ、掲載された申込み先までお願いいたします。

受講希望者が定員を超えた場合は抽選となりますが、就業に必要な技能と知識を身につけられますので、皆様の積極的な参加をお待ちしています。

就業会員の声

大宮会員の蓮沼 邦子さん

シルバー人材センターで内職作業に就業して約10年、高齢者生きがい活動センターの日常清掃作業に約6年、いつもテキパキと行動されているベテラン会員の蓮沼さんに、健康の秘訣についてお話を伺いました。

「自彊術を10年続けています。自彊術はもともと治療法として大正時代に我が国で開発されましたが、これが健康体操としてもすぐる効果的です。おかげで歯も自前ですし、体のどこも悪いところはありません。お買い物をはじめ、自転車を使わずに歩くことも健康法の一つです」

ところで、内職班のリーダーとしてグループをとりまとめるコツを教えてください。「グループの方々は年齢が似かよった気心の知れた人達ですので、特にコツといったものはありません。強いて言うならば、グループの和を大切に

しています。自宅のある町内でも、積立をして旅行に行ったり、お茶会を開いたり積極的に家族同士の親睦を図っています」とのことです。

趣味のカラオケは公民館ですが、生きがい活動センターではカラオケグループの代表者としても活躍しています。

いつも蓮沼さんの周りには人の輪(和)ができるようです。

(取材・後藤編集委員)



浦和会員の渡辺 勇さん

渡辺さんは、東京都北区役所に勤務し、定年退職後、平成20年に入会されました。区役所では公園課に勤務されていたこともあり、慣れ親しんだ仕事の植木班に入り、現在ではグループ長を務めています。そこで植木作業についてお話を伺ってみました。

「植木作業の日、会員は現場に集合し打合せをします。自分はその前に到着し、点検を兼ね機材などを動かします。現場で注意することは、機材の音や切り落とした枝葉などの処理。近隣に迷惑をかける場合もあるので、挨拶まわりは欠かせません。ヘルメットや安全帯の着用、脚立の設置や、建造物に傷をつけないよう、作業前の準備や安全確認も重要です。また、狭い場所で作業する場合は2名で作業するように指導しています。健康面にも気を使います。随時休憩を取るようにしています。見取り通りの作業後、確認印をいただいで植木作業が終了します」と作業の

流れを語ってくれました。

また、作業で苦労している点などお聞きしたところ「人員の配置は天候に左右されるので、それが苦勞かなあ」と話されていました。安全、迅速、綺麗が信条の方で、特に安全や健康面では、万一を想定して会員の主治医も把握するという念の入れようです。

自身の健康管理は「疲れたら寝る、痛みを感じたら治療、月に一度は健診。グループ会員にも同じように指導しています」とのこと。家族からは外で働けることは健康の証と励まされているそうです。趣味は盆栽。しかし、娘さんの協力も空しく枯らしてしまう…ショックを受けながらも活躍。その姿は輝いていました。

(取材・吉川編集委員)



与野会員の倉田 文雄さん

倉田さん80才は、定年後74歳まで食品メーカー関連の仕事をしていました。機会あつて平成23年、シルバー人材センターに入会し、同年10月から「NHK文化センターさいたまアリーナ教室」で就業されています。

NHK文化センターでは、各種講座開講のための事前準備を、男性4人でローテーションを組んで就業。常時300種以上の講座があり、各種講座に合わせた教室のレイアウト(机の数や配置)、ベッド張りなど多種多様のパターンに対応しているそうです。

安全面に関しては、とくに陶芸や茶道教室など、持込み機材には、いっさい触れないよう気をつけ、毎週土曜には、次週開講講座などに関する打合せをし『報・連・相』で事故が起きないように全員で努めています。

まれに講座が長引くことがあります。次講座に影響が出ないよう臨機応変に対応しています。

教室は5階と6階にあり、何度も往復し「1回の就業で七千歩以上歩き、おかげさまで足腰が強くなりました」とのこと。

休憩時には、講座の講師の方や利用者さんから声を掛けられ「楽しく良い刺激になっています」と話されています。

現在の仕事を始めて6年ほど。今まで培ってきた経験・知識などをまとめたノートを何冊も作成されています。講座が快適に開講できるようにと、とても研究熱心な方でした。

(取材・青島編集委員)



株式会社飯野製作所 様

飯野製作所は大宮区寿能町に位置しています。国内大手自動車メーカー向けに、エンジンやトランスミッションを支える重要部品を中心に、多種多様な精密加工を展開している会社です。さいたま市から獨創性、革新性に優れた技術をもった研究開発型のづくり企業として「さいたま市リーディングエッジ企業」と認証されている数少ない会社の一つです。管理部・総務課の岡田係長にお話を伺いました。

発注者の声

「製造工場の性格上、多数の工作機械が稼働しており、材料や製品の搬送作業が頻繁に行われています。このため安全管理には細心の注意を払っています。建物内外の整理・整頓、清掃作業は安全環境を整える上で大変重要です。シルバーの皆さんには、建物、食堂、トイレなどの清掃をお願いしています。仕事が丁寧なので従業員からも大変好評です。」

す。

シルバー人材センターのことは、以前封筒の宛名書きを依頼したことがあり、良く知っていました。いま敷地内の除草もお願いしていますが、新しい試みとして、材料や製品などの搬送用バケットの磨き・清掃についても相談中です」とのことでした。

打合せ室も大変清潔で、品質管理や、安全に関する各種の賞や盾が並べられているのが印象的でした。

(取材・後藤編集委員)



株式会社スズキ自販関東 様

スズキ自販関東は、さいたま市桜区にあります。国道17号線大宮バイパス下り車線、田島交差点そばで大変交通量の多いところです。所長の川井崇様からお話を伺いました。川井様は所長として2か月前に就任されたそうで、フレッシュでエネルギーシユな方でした。

「シルバー人材センターについては以前から就業依頼をしていたので知っていたが、発注のきつかけやはじめた時期は、記録がないので不明」とのことでした。

現在の車両洗いの仕事は、平成19年6月から発注いただいています。週4日(月・火・木・金)、10時から16時の時間帯で雨の日はお休みです。毎年更新していただき現在も継続中です。

シルバー会員は2名体制で就業しており、内容はスポンジを使用しての車両の水洗いです。「年間を通して屋外なので、特に夏場、冬場は大変厳しい作業です。それにもかかわらずのしつかり働いてい



る姿は素晴らしいと思います。自動車という高額商品の取り扱いなので、キズをつけないよう気を使っただけ作業してもらっています。現在のところ、そういうトラブルもありません」とのお話でした。

「安全と健康には十分に注意してほしい。夏場は水分補給などに気を付け、無理しすぎないことが大切」と言われ、その配慮に感銘を受けました。

「今まで通り就業していただければ問題はありません」とのお言葉をいただき、同じシルバー会員として誇らしい気持ちで取材を終えました。(取材・吉川編集委員)

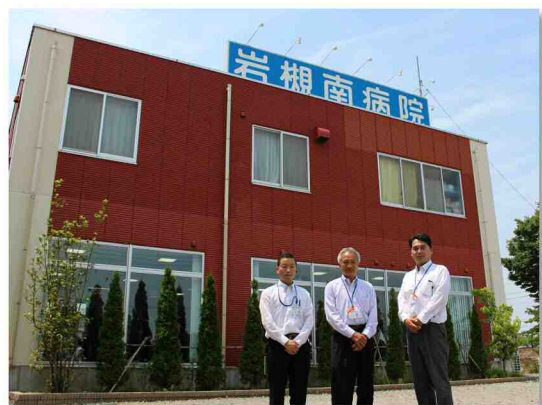
岩槻南病院 様

医療法人社団幸正会「岩槻南病院」は岩槻区黒谷に位置しています。周囲には住宅のほか、緑も多く見られます。受付には次から次に患者さんがやってきました。外来は一日平均150人以上だそうです。地域で頼りにされている病院という印象を受けました。総務課の黒田様、事務次長の高橋様にお話を伺いました。

本院は昭和52年に透析専門の病院として開院し、平成16年には循環器専門病棟を立ち上げ、現在は透析だけでなく救急対応可能な循環器専門病院となっているとのことでした。ベッド数24床のほか、

一般の患者さんもここ10年で4倍以上に増えているとお話です。患者さんは徒歩や自転車、タクシーで来ますが、自家用車も多く、駐車場での案内などをシルバー会員の鈴木さんが担当しています。

会員の鈴木さんは週3回、9時から12時の約3時間の就業です。丁寧な案内だけでなく、明るい挨拶



や患者さんが和む会話をしたり、車椅子に手を貸したりすることも。手すきの時間には、ゴミ拾いや草取りもするそうです。患者さんにも病院スタッフにも評判が良いとお話。80歳を超え若々しく仕事をされている姿に感銘を受けるとのお言葉もいただきました。会員への要望をお聞きしたところ、夏場などは水分補給や休憩を入れてほしいとのことでした。

多忙な中、取材に丁寧な温かく対応していただきました。ありがとうございました。(取材・島村編集委員)

写真左から運輸課：関根様、事務次長：高橋様、総務課：黒田様

地域班活動

西区 第一地域

地域長 中島 幸男

西区第一地域は、JR指扇駅南口より荒川と鴨川の内側に沿った地域です。荒川の西側はすぐ川越・富士見ですが、西側にも会員が9名住んでいます。水田や畑などが多い地域で面積が広大なエリアです。第一地域は班が6班で会員は110名で活動しています。

昨年の10月23日(日)に後期第2回目の奉仕活動を行いました。朝6時30分に大宮ワークプラザ前に集合し、午前7時より作業を始めました。秋でしたが日差しが強く暑い朝でした。指扇駅南口と北口近辺の除草と清掃を行いました。作業中に通行人から「苦労様」と声を



かけられました。地域の人に感謝され、良いことをしている実感がわき、胸が熱くなりました。来年も頑張ろうと思っています。

毎年西区は第一地域と第二地域のすべての会合を合同で開催しています。今年度は5月14日(日)に第1回班長会議を開きました。上半期の第1回奉仕活動は7月23日(日)、指扇駅近辺の除草と清掃を行うことになりました。第1回地域会議は8月2日(水)に大宮ワークプラザにて開催することに決定しました。下半期は10月の第2回班長会にて奉仕活動と第2回地域会議の日程を協議する予定です。

南区 第四地域

地域長 内藤 勝義

私たちの南区第四地域は、南区の南端に位置し、お隣は戸田市です。直近の会員数は225人。これは当地域の60歳超の人口約2万人の1・1%で、さいたま市全体の60歳超に対する会員の割合1・4%(推定)を下回っており、当地域の課題のひとつです。

私たち地域班は率直に言って、日常的に新規入会のお誘い活動をするには限界がありますが、アフターケアをすることはできます。新規会員の皆さんが、シルバ―センターの理念「自主・自立、共働・共助」に賛

同し「会員相互の連帯意識と親睦を基調に、地域の発展に貢献する」と決意されたことに敬意を表し、私たち世話役がさまざまな知恵と工夫をすることが大切に



はないでしょうか。

幸いなことに、私たちの地域の班長さんは会員の話を良く聞き、加えてアイデアマンや芸達者が揃っています。私たちは「楽しくなければ…」を合言葉に、年2回の地域会議の交流タイムでは、吟味したお弁当を味わいながら、健康体操、和太鼓伴奏による浦和踊り、創作ダンス、フラダンス、そしてカラオケ大会など、出し物に創意と工夫をこらしています。そして、すべての活動の原点を「会員が『きずな』を強め、常に会員の気持ちに活動に反映できるように」努めています。

親睦互助会

「第7回四支部交流」

グラウンドゴルフ大会実施

大宮支部 奥田 善七

各支部持ち回りで今回は大宮支部が担当で、5月17日(水)に見沼区堀崎公園グラウンド、人工芝サッカー場で実施しました。

心配された雨も降らず快適な日となりました。各支部から20名、四支部合計80名の参加者が集まり、山内親睦互助会会長、小山大宮事務所長のあいさつがあり、その後準備体操、ルール説明、前回優勝者の大宮の麻原武夫氏から優勝杯の返還がありました。注意事項として場内は飲食禁止、煙草禁止、プレー用具以外持ち込み禁止などが説明されました。

今回の参加者の3割は80代、1割が60代、他は70代という構成でした。

80人を組み合わせて5人ずつ16グループに分け、2面コートに

分かれAコース、Bコースでプレーを開始しました。プレーをして最初に感じたことは、人工芝はボールが飛ばないことでした。普段、土のグラウンドに慣れている人は戸惑ってしまったと言っていました。

今回の成績をみると第7回にして初めて女性の綾部瑞江さん(岩槻)(スコア69、ホールインワン3)が優勝しました。

大宮支部も年3回のふれあい会グラウンドゴルフ大会が定着して毎回60名程度が参加、7月に宮原公園、10月に大宮体育館前広場、3月に指扇滝沼川遊水地で実施しています。



「浦和支部活動状況」

浦和支部 菊池 昭武

親睦互助会浦和支部の日頃の活動についてご紹介いたします。

浦和支部は、会員数1500名の規模で活動しており、会員同士の親睦を図ることを目的に、福利厚生事業を行っています。四支部合同グラウンドゴルフ大会への参加、日帰り旅行(80名募集のグループが曜日を分けて2回出発)または一泊旅行(80名募集)の実施、会員作品展(10月初め、岸町公民館展示ホールにて)の実施、新年会(100名募集)の開催、シルバークラブ同好会(30名)、フォルト・ウォーキング同好会(34名)、ハ



イキング同好会(35名)、書道同好会(16名)、浦和シルバークラブ同好会(35名)の5つの同好会への加入促進及び助成、給付事業として敬老祝い金などの支給、地域活性化支援。

去る5月15日第1回幹事会にて、平成29年度の事業を決定致しました。今年が目玉としては、なかなか行くことのできない「飛騨高山・白川郷を訪ねる一泊旅行」を企画しました。それ以外の事業は、昨年と同様、新年会・会員作品展・同好会活動・地域活性化支援など一層の工夫をこらし進める予定です。

「支部総会開催」

与野支部 山内 忠義

私が支部長になって初めての親睦互助会と野支部定期総会を平成29年5月14日に開催しました。

総会の開催にあたり、役員会で皆さん方と意見交換しながら、「総会出席人員の拡大と総会に出席して良かった」と言われる総会にしようとのコンセプトで次のような取り組みをしました。

総会案内書に、今回初めての企画として、総会終了後の余興「ハワイアンフラダンス」を予定、と記載し総会出席を呼びかけました。

平成29年度事業計画案に「シルバー人材センターの行う事業に積極的に参加するとともに会員の拡大に協力する」と明記しました。

総会参加者は例年よりも2割



以上増加し、ハワイアンフラダンスには大人だけではなく可愛らしい子供達の参加もあり、大変好評でした。

また支部長として、中央区コミュニティ協議会の理事に就任しました。

コミュニティ課の窓口に「シルバー人材センターのリーフレット」を置いていただくとともに、区民まつりなど地域の行事に積極的に参加し、「明るく元気で活動的な与野支部」づくりに努めてまいります。

「定期総会開催」

岩槻支部 古暮 俊夫

親睦互助会岩槻支部「みどり会」の平成29年度定期総会が、岩槻本丸公民館視聴覚ホールにて、5月25日（木）に開催されました。

当日は110名の来場があり、委任状と合わせると600名を超える出席数となりました。

はじめに会長があいさつ、続いて鶴川岩槻事務所長があいさつ、現状報告、会員数増加のための施策などのお話をいただきました。

続いて今年度喜寿を迎えられる方をお祝いしました。35名と今までで最多の方が該当され、元氣な会員が増えているのを実感しました。

議事は、昨年の事業報告と決算報告、今年度の事業計画と収支予算の提案と進み、全ての報告・案が審議の結果、満場一致で承認されました。

同好会の活動報告は、グラウンドゴルフ、カラオケ、ドンパン会、手芸クラブの代表から、それぞれ



の活動の様子と会員募集の案内があり、特にグラウンドゴルフクラブからは、浦和、大宮、与野、岩槻の四支部交流の親睦グラウンドゴルフ大会で、初めて岩槻から優勝者が出たと報告し、会場から大きな拍手を受けました。

議事終了後のアトラクションで、ドンパン会による踊りと会場全員による踊りがあり、盛況のうちに総会が終了しました。

安全委員会より

就業に係る安全意識の普及啓発と諸規則などを説明した冊子「安全のしおり」を4月に配付させていただきましたが、お読みいただけましたでしょうか。

今年度から、毎月10日を「安全の日」と定め、安全に対して会員一人ひとりがしっかりとした意識を持ち、安全についての良い習慣を現場で実践することの大切さを再確認する日といたしました。また同じく今年4月より「事故取扱基準」も施行されております。

シルバー事業は、高齢者が健康で安心して「働く」ことを通じて生きがいを得るとともに、地域社会に貢献していくことを目的としており、日頃から安全就業に対する意識を高め維持していくことが肝要です。

「安全はすべてに優先」

事故のない就業に努めていただきますようお願いいたします。

出張説明会を行っています！

シルバー人材センター事業を、一人でも多くの方に知っていただき、身近な存在として感じていただくため、出張説明会を行っています。「シルバー人材センターに入会すると、どんな仕事を提供してもらえるの?」「シルバー人材センターにはどんな仕事を頼めるの?」など、どんな質問でも丁寧にご説明します。



自治会やサークル活動などお仲間

間で集まる機会に合わせて、センターから担当者が伺います。センター以外の活動をしているお仲間をぜひご紹介ください。

出張説明会の申込みやお問合せは、センター本部事務所（電話69-0303）へお気軽にご連絡ください。

新役員のご紹介

平成29年度定時総会において承認されました。



伊藤義夫理事

専務理事の交代

平成29年6月23日をもって、大矢幸子専務理事が退任することになりました。

新たに選任された専務理事をご紹介します。



江森信行専務理事

退任されました前専務理事には、センター発展のためにご尽力をいただき、ありがとうございました。

表紙

「岩槻文化公園」

岩槻区村国に位置し、元荒川に隣接しています。体育館、陸上競技場、テニスコート、多目的広場などがあります。

体育的活動に利用されるだけでなく、イベントなどの会場として広く利用されています。

編集後記

今号は安全と健康、及びシルバー人材センターの活動をテーマに編集させていただきました。

会報「さいたまシルバー」は会員の皆様に楽しい、分かりやすい、そして正確な情報を提供させていただき、参考となる紙面となるよう編集委員一同、力を合わせてまいります。

盛夏の中、安全、健康に留意され、皆様のご活躍をお祈り申し上げます。

(編集委員会)